

KAITEKI健康経営の取り組み

MCHCグループは、従業員・職場の健康支援と働き方改革を両輪として、健康という視点で従業員一人一人の活躍を支援する「KAITEKI健康経営※」を推進しています。

※ 健康経営は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。「KAITEKI健康経営」は、健康経営研究会の了承を得て使用しています。

KAITEKI健康経営の目標(KPI)と実績

レビュー

働き方に関する意識や行動が着実に改善

2020年度の結果は、いきいき活力指数が+6pt(達成率40%)、働き方指数が+6pt(達成率60%)、健康指数が+2pt(達成率20%)となりました。働き方指数については、働き方の課題を組織/チームで見直すことで、職場や従業員一人一人の意識や行動が着実に変わってきています。健康指数については、テレワーク推奨などの施策の効果により主観的健康観や睡眠習慣が改善しましたが、1回目の緊急事態宣言の期間中(2020年4月~5月)は全ての職種で歩数が減少しました。職種間で程度に差はありますが、外出抑制やテレワークによって通勤がなくなった影響が大きく出ています。今後も毎日の生活の中での運動の重要性を認識し、運動を習慣化することの大切さを発信し続けていきます。

働き方指数・健康指数が高い集団ほど、いきいき活力指数が高い傾向があります。KAITEKI健康経営の両輪である健康支援・働き方改革の施策、プラットフォーム「i² Healthcare※¹」を活用したPDCAの推進により、職場の創造性・生産性の向上につなげていきます。

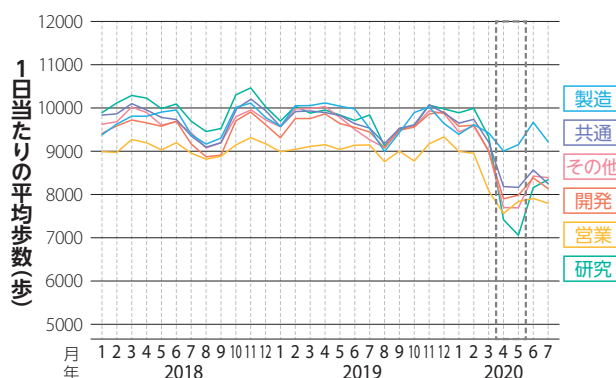
※¹ ウェアラブルデバイスから取得した日々の活動状況や、健診データ、働き方データなどを統合し、各従業員が端末上の「マイページ」で自分の状況を可視化し、活力の最大化を支援する自社開発システムです。

※² 健康サーベイは、KAITEKI健康経営に対する各従業員の意識や取り組み状況を把握するための調査です。

※³ MCHCグループでは希望者にウェアラブルデバイスを配布しており、従業員の同意および倫理審査委員会の承認のもと、KAITEKI健康経営関連指標の分析の一環としてウェアラブルデバイスデータの分析を行っています。なお、2020年度の分析には2020年7月までのデータを用いています。

内容	2020年度実績	2020年度目標(基準年度比)
いきいき活力指数 従業員のやりがい、熱意、信頼、成長を指数化	69pt (基準年度比+6pt)	+15pt 健康サーベイ※ ² において、ポジティブな選択を15ポイント以上増やす。
働き方指数 働き方に関する意識、行動、取り組みレベルを指数化	74pt (基準年度比+6pt)	+10pt 健康サーベイにおいて、ポジティブな選択を10ポイント以上増やす。
健康指数 健診項目、生活習慣の質、満足度レベルを指数化	48pt (基準年度比+2pt)	+10pt 健康基準を示す10項目において、当てはまる項目を、全員が10ポイント(1項目)以上増やす。

職種別の平均歩数推移※³



業務改革を通じて創造性が発揮できる自走型組織へ

MCHCグループは、新型コロナウイルスの感染拡大以降、テレワークの推奨やサテライトオフィスの整備など、新しい働き方への適応を推進してきました。

昨今のリモートワークの急速な普及を受け、MCHCでは、「ニューノーマルへの変革」を旗印に、2020年10月に業務改革プロジェクト「GSK(業務を素敵に改革する)」を立ち上げました。プロジェクトでは、リモートワーク時の効率を阻害する要因を排除し、場所や距離にとらわれることなく、生産性高く、柔軟に職務を遂行できる仕組みを構築すること

をめざし、デジタルツールの活用ガイドを作成するとともに、自宅やサテライトオフィスを快適な業務環境にするツールやアイデアを提案しました。さらに、ペーパーレス化、申請・承認システムの電子化(ハンコレス)、リモートワーク下でのコミュニケーションの最適化などを検討し、現場での改善を進めています。

プロジェクトメンバーは半期ごとに社内公募により選出しており、「一人一人が変化に対応し、創造性が発揮できる自走型組織」の実現にもつなげています。